

## 第一回刀剣博物館建設準備委員会議事録概要

平成26年12月16日(火) 午後1時30分～3時 刀剣協会 一階会議室

出席者 柴原勤 志塚德行 福本富雄 笠原克美 三浦修 江川宏

松永廣吉 森政雄 (敬称略)

欠席者 酒井忠久

陪席者 小野裕(会長)

楨総合計画事務所 若月副所長 以上10名

事務局 二階堂 飯田 舞田 久保

小野会長より本日出席の謝辞があり、本日は指名業者三社に図面渡しと見積の説明会が行われる旨報告があった。

### 一、楨総合計画事務所より報告

若月副所長より

1. 両国まち歩き拠点施設
  2. 伝統を踏まえ、両国公会堂の構成を継承する
  3. 魅力ある公園施設としての博物館
  4. 質、量ともに充実し、刀剣を通じ日本古来の文化を広く発信する
- 以上の設計の四つのコンセプトの説明があり、さらに図面に基づき説明があった。

### 二、柴原委員長より経過報告

平成25年10月23日、墨田区と話し合いがもたれ、両国公会堂の跡地活用についての説明があり、執行役員、事務局長が対応した。

このあと楨総合計画事務所との折衝があり、墨田区への活用提案書を作成し、提出、墨田区の第一回議定会定例会の総務企画委員会、第二回定例会で報告ののち、平成26年7月22日に墨田区に事業計画その他を提出し、翌月8月21日に両国公会堂跡地活用事業選定委員会へ執行部、二階

堂部長、若月副所長がプレゼン。翌月9月25日に墨田区第三回議定会定例会総務委員会にプレゼン内容が報告され、結果選定委員会で選定したとの報告を受けた。

今後は26年度中に墨田区と基本協定を締結し、5月に墨田区は解体作業に入る。

これは埋蔵文化財の調査があるためにずれこんでいる。工事は28年3月から着工、工期は約13カ月の予定。

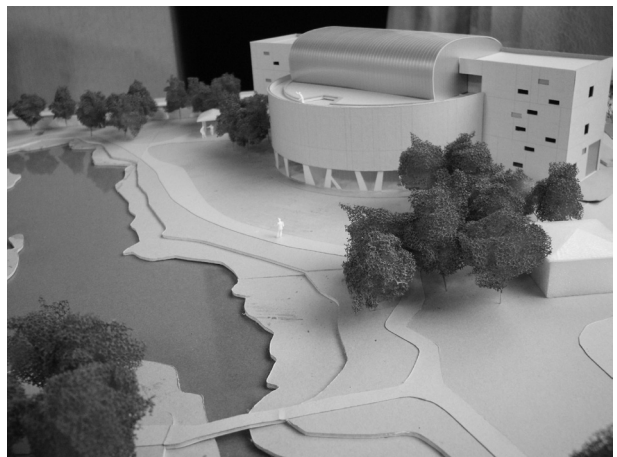
平成29年春に完成するが、乾燥期間が必要になる。なお、公開承認施設の件では文化庁及び東京文化財研究所と相談している。

楨総合計画事務所とは11月13日付で業務委託の契約を結んだ。設計費用は国土交通省令の施設用途の第二类博物館に該当し、一般の設計料に比較して割安な料金になっている。

又、ポーリング調査はすでに11月29日に終了しており、後日報告に基づき検査をして調査費を支払うことになっている。

### 三、寄附について

今回の寄附の募集は「公益財団法人日本美術刀剣保存協会寄附金等取扱規程(第二条の(二)の特定寄附金)であり、目論見書及び寄附申込書(案)を規程の第四条に基づいて作成している。税金の控除等については顧問税理士の三浦委員にご指導いただく。委員より種々ご意見を頂戴し、今後の検討課題とした。



新刀剣博物館 (完成予想模型)